

2024年度 学校法人早稲田学園 わせがく高等学校 柏センター

分掌名		各分掌 今年度の取組目標と方策			
生徒募集	生徒募集	2024年度末在籍生 100名以上の在籍生を目指す。	4	2969名	
		2025年度 新入生 わせがく 50名以上の新入生獲得を目指す。	2	844名	
	2.5	エリア別会議年3回以上、全体会議年4回以上実施する。エリア別会議には生徒募集担当も積極的に参画し、情報交換や新規提案、学園全体で募集活動に従事する体制作りを目指す。	5	100%	
		科目履修生50名以上の在籍を目指す（前後期合計）	1	13名	
		HPの操作性向上のためリニューアルを行う。HP上での資料請求件数、学校見学会・個別相談会予約件数を合計3000件以上とする。	5	3160件	
4	5	新聞・雑誌（印刷媒体）広告から、実効あるWEB広告への転換を継続して促進する。予算は前年度の水準を維持する。	5	100%	
		通信制高校ナビ・ズバット通信制高校比較のアフィリエイト広告や、Google広告のリスティング広告等を時流に合わせて実施する。アフィリエイト広告では来校に結び付く質の高い問合せ者の獲得を目指し、3500件の問合せ	5	80553円	
教務	教務	新学習指導要領の理解と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育活動に取り組み、探究活動の発表会を実施する。	5	実施	
		クラウドキャンパスを活用し、単位修得率を全体の96%にする。	5	98%	
		適切な評価のため、レポート・試験の作成と取り組み方を監督する。（成績、評価等に関するミス各教科2件以下）	1	50%	
		全体研修の充実を図る。（満足度80%以上）	5	92%	
		eラーニング教材を導入し、補習授業時間割にスタディサブリの時間を週1コマ以上設け、有効活用する。	2	80%	
	メディア 図書委員	3	LibrariEを利用して、教員・生徒合わせて延べ4000冊以上本を借りる。	1	1647冊
			LibrariE図書だより年2回以上の発行	5	4回
	3.8	4	夢育newsを年2回、前期と後期に発行し、生徒一人一人の夢育のきっかけとなるイベント・事業をそれぞれ100件以上紹介する。	5	100件
			生徒募集にもつながる夢育プログラムで参加人数を500名以上（うち中学生を100名）にする。	5	計 1116名（うち中学生39名）
		留学 委員会	5	24回	
生徒指導	生徒指導	アデレード短期留学と3回の事前学習会を実施する	5	3回	
		2025年の留学先を決定し、その留学参加希望者数15名以上とする。	5	決定	
		自立した個人として、他者を思いやり尊重する心や態度を育て、いじめ件数ゼロの学校を確立する。	5	0件	
		生徒指導上の理由による退学者ゼロを目指す。	4	1人	
		特別指導の対象となる生徒15名以下を目指す。予防的生徒指導を推進し、生徒の意識改革を図る具体的方策を考え、実践する。	1	28人	
	2.8	不慮の事故や自殺などで、1人も生徒の生命が失われることのない環境を教育相談や関係各所と連携して作る。	1	1人	
		年間の各キャンパスの校内事故発生件数1件を下回るよう、事故減少及び防止への積極的な取り組みを目指す。	1	26	
		避難・防災訓練の実施。（多古本校・飯能本校は年間2回、その他校舎は年間1回以上）避難・防災訓練が実施できない校舎は防災・災害講話の実施をする。	5	15	
		学校備蓄品を無駄にしないよう計画的な消費・補充をおこなう。	1	8	
		ケーススタディにおいて、計画・実行・評価の機能を充実させ、多角的な見方を通して生徒一人により多くの人が関われるよう、チーム支援の拡充を図る。	3	キャンパス数 14/15	
3.3	5	生徒掌握力の向上に向けて全体研修会や教育相談研修会など、より多くの教員が能動的に学べる校内研修を年2回は実施し、生徒対応の専門的・研究的要素を深める。	5	4回	
		生徒状況報告を随時活用し、不登校傾向の生徒状況を全体的に把握しながら、不登校改善率80%を目指す。	5	85.7%（改善率）	
		不登校克服フォーラム等の校内外の教育相談研修会の参加を推奨し、知識・技能を身につけたスクールコーディネーターを1名育成する。	5	9名	
		教科・LHR・特別活動・総合的な探究の時間など、学校教育活動全体を通して指導を行う。生徒の無限の可能性を引き出し自分の夢を実現させるために、1年次から探究や体験活動などを基にして、自分の進路の物語を	3	75%	
		進路指導計画にもとづき実行することで、社会的自立を目指した進路指導（キャリア教育）を充実させる。（進路ガイダンス等を各校舎4回以上）	5	5.5回（キャンパス平均）	
4.7	4.5	職業体験、職場見学（年間のべ130人以上、内夢育20人）など体験の場の確保や公的機関と連携し、進路に対する意欲を促進させる。	5	267人	
		指定校の獲得280校（内夢育80）	5	337校	
		eスポーツ大会・修学旅行において、行事参加者の意見を収集し、次年度へ反映する。平均90%以上の良い評価（非常に良い・良い）を得られるように満足度の高い内容と体験学習の場を提供する。	5	96%（良い評価率）	
5	5	学校全体行事参加率の向上を図る。5日制の式典以外の全体行事（eスポーツ大会・修学旅行）参加率平均75%以上を目指す。	5	86.2%（参加率平均）	
		全体行事参加率向上のため、各校舎5日制の校外学習・集中体育・1年次遠足の参加率平均80%以上を目指す。	5	87.1%（参加率平均）	
		職員による生徒の健康状態把握。且つ生徒自身による健康管理を行うために、健康診断・歯科検診の未受診者を在籍者の200名未満にする。（わせがく150・夢育50）	1	診断）373名（歯科検診）	
保健厚生	保健厚生	年間1回以上は保健指導を行う。	2	キャンパス数 13	
		各校舎における感染症の流行・拡大を防ぐために、保健だよりを利用し感染症予防の指導を行い、年間出席停止者延べ数を1割未満にする。	2	1.3割（出席停止者）	
			4.1		